

令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

県防連では、令和4年度の事業計画に基づき、事業指針である「安全・安心で平穏な地域社会の実現」に向けて、機関紙「防犯しゃくなげ」やホームページによる広報啓発活動等を積極的に推進して県民の防犯意識の高揚を図った。また、福島県、福島県警察、市町村や関係機関・団体等との緊密な連携を図りながら、防犯ボランティアに対する支援活動、風俗環境浄化事業、自転車防犯登録推進事業等の地域の安全に向けた各種事業を実施して「犯罪の起きにくい社会づくり」を推進した。

事業名及び実施事項	実 施 内 容
第1 犯罪防止地域安全活動事業	
1 県民の地域安全意識の啓発、高揚事業	(1) 広報活動の推進 ア 機関紙「防犯しゃくなげ」の発行による効果的な広報 地域の安全に役立つ情報を掲載した「防犯しゃくなげ」を4回発行し、関係機関・団体、個人へ配布するとともに、市町村の自治体組織を通じて各戸回覧して防犯意識の啓発を図った。 ○ 発行数 302,945部 ○ 主な掲載内容 ・ なりすまし詐欺被害状況・手口等をはじめとした犯罪情報 ・ 警告機能付き電話録音機の貸出事業 ・ 地域安全作文募集・同入選者紹介 ・ 地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクールの開催 ・ 同入選作品の掲載 ・ 地区防や防犯ボランティアの活動紹介 ・ 少年警察補導員の手記 ・ 自転車防犯登録広報 ・ 全国地域安全運動・県民大会の開催 ・ 防犯功労者・優良防犯団体表彰の紹介 ・ 年末年始の犯罪被害防止活動 ・ 福島県警からのお知らせ：POLICEメール ・ 県防連会員紹介 ・ 県防連通常総会の開催 など イ ホームページによる情報提供 県警察の支援による犯罪情勢や、「なりすまし詐欺」をはじめとした各種犯罪の防止対策、各地区防犯協会やボランティアの活動状況を掲載して県民の防犯意識の高揚を図った。 また、県防連の行事日程や風俗管理者講習日程等を掲載することにより、より県民の立場に立った迅速かつタイムリーな情報提供に努めた。 ○ 主な掲載内容 ・ 福島県防犯協会連合会の活動内容・主催行事 ・ 自転車防犯登録手続及び自転車防犯登録に関する相談 ・ 風俗営業管理者講習日程 ・ 寄附金受納 ・ なりすまし詐欺被害状況・手口等をはじめとした犯罪情報 ・ 警告機能付き電話録音機の貸出事業

	・地域安全作文の募集・同入選者紹介 ・地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクールの開催 ・同入選作品の掲載 ・地区防や防犯ボランティアの活動紹介 ・自転車防犯登録広報 ・全国地域安全運動・県民大会の開催 ・防犯功労者・優良防犯団体表彰の紹介 ・年末年始の犯罪被害防止活動 ・福島県警からのお知らせ：POLICEメール ・県防連会員紹介 ・県防連通常総会の開催 ・古物商許可標識等申込み など ウ 地域安全カレンダーの作製、配布 地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクールの入選作品を掲載した令和4年地域安全カレンダーを県警察と連名で作成し、地区防犯協会や防犯連絡所、賛助会員等に配布し、地域安全意識の啓発を図った。 ○ 発行数 8,295部 エ クリアファイルの配布による広報活動 地域安全運動ポスター・標語・青パト活動写真コンクールの入選作品を掲載した広報用クリアファイルを作製し、地域安全広報として広く活用した。 ○ 作成・配布数 5,000枚 オ 新聞への広報記事の掲出 なりすまし詐欺被害防止、全国地域安全運動、サイバー犯罪防止特集記事など、地域の安全に関する広報記事を地元新聞に掲出し、県民の地域安全意識の啓発を図った。 ・ 令和4年10月10日、福島民報及び福島民友新聞 「令和4年全国地域安全運動に伴う犯罪被害防止」広報記事 ・ 令和4年12月17日、福島民報新聞 「なりすまし詐欺被害防止」広報記事 ・ 令和5年3月28日、福島民報新聞 「防犯を考える特集」広報記事 ・ 令和5年3月28日、福島民友新聞 「サイバー犯罪防止」広報記事 カ ラジオ広報の実施 ・ 令和4年全国地域安全運動に合わせ、10月9日から13日まで、ラジオ放送（ラジオ福島）による運動の啓蒙広報を行い、県民に犯罪被害の防止と地域安全運動への参加を呼びかけた。 ・ 令和4年年末年始の事件事故防止活動に合わせ、12月10日から20日まで、ラジオ放送（エフエム福島）による運動の啓蒙広報を行い、県民に犯罪被害の防止と地域安全活動への参加を呼びかけた。 (2) 県民参加による活動の推進 ア 「令和4年全国地域安全運動福島県民大会」の開催 令和4年10月13日、県警察と共催し、令和4年全国地域安全運
--	--

	動の県民行事として郡山市立中央公民館で開催した。 イ 地域安全ポスター・標語・青パト活動写真の募集 県警察と共催して、小学生、中学生、高校生及び一般を対象として募集し、ポスター139点、標語1,729点、青パト活動写真11点の応募があり、入選者の表彰を行うとともに、その作品を機関紙「防犯しゃくなげ」やホームページ、新聞等で紹介するなど、広く各種広報活動に活用した。 表 彰 〈ポスター〉 ○小学生の部 最優秀 喜多方市立熊倉小学校 小林永愛 他4名 ○中学生の部 最優秀 会津若松市立河東学園 渡部小夏 他4名 ○高校生・一般の部 最優秀 尚志高校福島キャンパス 佐藤夏輝 他4名 〈標 語〉 ○小学生の部 最優秀 喜多方市立第一小学校 高田最愛 他4名 ○中学生の部 最優秀 須賀川市立第三中学校 宮崎遼太郎 他4名 ○高校生・一般の部 最優秀 福島県立勿来工業高校 佐藤くるみ 他4名 〈青パト活動写真〉 ○ 最優秀 南達防犯指導隊 渡邊 誠 他2名 ポスターの入選作品は、全国防犯協会連合会主催の令和4年全国地域安全運動に向けた公募に応募し、地域安全ポスター部門で、会津若松市立河東学園の渡部小夏さんの作品が「佳作」に入選した。 ウ 地域安全作文の募集 小・中学生を対象とした地域安全作文を募集し、地域安全意識の高揚を図った。 応募数は、小学生の部90点、中学生の部434点で、入選者を表彰するとともに、機関紙「防犯しゃくなげ」やホームページ、新聞等で紹介した上、各種広報活動に活用した。 表 彰 ○小学生の部 最優秀 喜多方市立堂島小学校 関本桜里姫 他5名 ○中学生の部 最優秀 二本松市立二本松第一中学校 喜古朱里 他5名
2 地域安全活動事業	(1) 安全・安心なまちづくりの推進 ア 地区防犯協会、防犯ボランティア活動の支援 ○ 青色回転灯付防犯パトロール車貸出し 当協会所有の車両を、希望する地区防犯協会に貸出してその活動支援を行った。 貸出日数 延べ550日

	貸出先 南会津防犯協会連合会・伊達市防犯協会連合会 ○ 防犯ボランティア活動支援 富岡地区防犯指導隊に対し、特製マグネットシートを支援した。 ○ 地区防犯協会、防犯ボランティア団体の活動を機関紙「防犯しゃくなげ」やホームページで紹介し、その活動を支援した。 ○ 防犯ボランティア保険の加入斡旋 防犯ボランティアが安心して活動ができるように安価な防犯協会員団体補償保険（ボランティア保険）の加入を斡旋した。 ・ 加入者数 673人(前年比+70人) イ 防犯環境設計による安全・安心まちづくりの支援 防犯チェックシートを活用した住宅の防犯診断要領などについて、機関誌に掲載して啓発した。 (2) 各季等における運動の推進 ア 春季・行楽期・夏季等、各季に応じた犯罪被害防止の広報活動を推進した。 イ 全国地域安全運動 9月29日、全国地域安全運動中央大会に参加したほか、10月13日、県警と共催で全国地域安全運動福島県民大会を開催した。 ウ 年末年始における事件・事故防止活動の実施 運動期間(12月10日から1月7日まで)の前日、県警主催の出動式に県知事等と共に参加した。 (3) 子ども、女性、高齢者を守る被害防止対策の推進 児童・生徒を対象とした、サイバー犯罪被害防止用の冊子を配布して被害防止意識の啓発を図った。 また、「なりすまし詐欺」の被害防止のため、冊子の配布・機関紙・ホームページによる広報啓発活動を実施したほか、警告機能付き電話録音機の貸出事業の拡大を行った。 (4) 職域防犯対策の推進 福島県中古自動車販売協会、福島県自転車軽自動車商工協同組合、福島県遊技業協同組合連合会、福島県たばこ販売協同組合連合会等と連携を図り、講習会や研修会を通じて防犯対策を推進した。 (5) 青色回転灯付防犯パトロール車の効果的運用 ア 貸出事業 当連合会で所有する車両を、南会津防犯協会連合会・伊達市防犯協会連合会に貸出して運用し、効果的に活用した。 イ 防犯パトロール車の整備 全国防犯協会連合会に要望し、令和5年度に一台の配置が認められた。
3 青少年の非行防止と健全育成事業	(1) 有害環境浄化対策の推進 ホームページ、講習会等を通じて、青少年の健全育成を阻害する有害環境の浄化に向けた広報啓発活動を推進した。

	(2) 少年非行防止広報の推進 ホームページ・ポスター・機関誌への掲載、新聞広告や冊子配布等を実施し、少年非行防止の広報活動を推進した。 (3) 関係機関との連携 関係機関等が主催する行事・会議への参加や協賛・後援等により、取組みの一体化を図った。 ・ 11/18 福島県青少年健全育成県民大会 ・ 11/18 未成年者喫煙防止対策協議会 ・ 11/26 被害者に優しい福島の風運動
4 覚せい剤等薬物の乱用防止事業	(1) 関係機関との連携 「ダメ、ゼッタイ。」県普及運動実行委員会等との連携を図り、関係機関・団体が取組む活動を支援した。 (2) 広報活動の推進 機関紙を県内全戸回覧し、県民に広く注意を喚起した。
5 自転車防犯対策事業	(1) 自転車盗難防止対策の推進 機関紙やホームページ・新聞等の各種媒体を活用して、自転車防犯登録の必要性や自転車盗難防止のための注意事項等を掲載して周知を図った。 (2) 自転車防犯登録業務の推進 ア 関係機関・団体との連携 県警察や県自転車軽自動車商工協同組合と連携し、自転車防犯登録、電算登録業務を適正に推進した。 ・ 令和4年度 自転車防犯登録台数 47,993台 イ 自転車防犯登録所への指導 適正な業務推進に向け、県自転車軽自動車商工協同組合と連携し、指導員を介して指導を行った。 ウ 迅速な防犯登録の推進 指導者研修会を開催し、登録カードの早期提出や適正な運用について再認識を図った。 エ 相談への適切な対応 ホームページなどを通じて寄せられる防犯登録に関する手続きや抹消登録要領等について、適切に対応した。
6 地域安全功労者・団体の賞揚事業	(1) 全国・管区・県表彰受賞者の推薦 県警察と連携し、地域安全活動功労者・団体の賞揚に努めた。 全国表彰 防犯栄誉金章 南相馬地区防犯指導隊 高橋 猛 氏 他 1団体 7個人 管区表彰 防犯功労者 福島北地区防犯協会連合会 畠 隆章 氏 他 3団体 10個人 県表彰 防犯功労者等

	いわき東地区防犯協会連合会 猪狩 光雄 氏 他 35団体 111個人
7 捜査協力報償事業	(1) 犯罪の予防、捜査協力等への支援 犯罪捜査への協力により損失を被った質屋・古物商等に、規定に従い報償金を交付した。
8 防犯資器材等の普及及び斡旋事業	(1) 防犯資器材等の普及促進 各地区防に斡旋物品の見本を配布し、各地区防が対応しやすいシステムを構築して積極的に紹介して普及促進を図った。 ・ 地域安全腕章 70枚 ・ 防犯連絡所表示板 173枚 ・ 防犯活動冊子 200枚 (2) 斡旋事業 古物商営業に必要な物品、防犯意識の啓発に資する物品を斡旋した。 ・ 古物商許可標識 250枚 ・ 行商従業者証 184枚 ・ 防犯カレンダー 8,295部 ・ 防犯手帳 425冊 ・ ポスター・チラシ 3,250枚

第2 風俗環境浄化事業

1 善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化事業	(1) 福島県公安委員会からの受託事業 ア 風俗営業管理者講習の実施 風営適正化法に基づく風俗営業の管理者に対する講習を、年間計画により15回 331人に実施した。 イ 風俗営業申請等の調査の実施 風営適正化法に基づく風俗営業所の許可申請に対する調査を適正に実施した。 ・ 令和4年度 28箇所 (2) 風俗環境浄化活動の推進 ア 風俗営業管理者講習を通じ、風俗営業の健全営業の広報啓発活動を推進した。 イ 風俗営業者の健全営業の指導 風俗営業管理者講習、風俗営業申請等の調査時において、法令遵守による健全営業について指導し、風俗環境の浄化を図った。
-----------------------	--

第3 その他

1 東日本大震災等被災地に対する地域安全支援事業	(1) 関係地区防犯協会への支援 復興途上にある活動困難地域（双葉警察署管内）の防犯ボランティアに対するマグネットシートの支援を行った。
--------------------------	---

2 協会事務等	(1) 会議等の開催 ア 理事会の開催 ○ 第1回理事会 令和4年5月27日 福島市内で開催 令和3年度 事業報告及び収支決算報告等について審議 ○ 第2回理事会 令和4年6月14日 福島市内で開催 会長、副会長及び専務理事の選定について審議 ○ 第3回理事会 令和5年3月9日 福島市内で開催 令和5年度 事業計画及び収支予算等について審議 イ 通常総会の開催 令和4年6月14日 福島市内で開催 令和3年度の収支決算等を議決・承認、令和4年度の事業計画・収支予算等を報告した。 ウ 福島県防犯連絡所協議会連合会定例理事会の開催 令和4年11月9日 福島市内で県警察との共催で開催 令和4年度 事業計画等について審議 (2) 会議への出席 ア 福島県、県警察、関係機関・団体等が主催する会議 それぞれの機関・団体が主催する会議等に参加し、連携・協力関係を構築した。 ・ 6/2 福島県被害者支援センター総会 ・ 4/22 第72回社会を明るくする運動福島県委員会 ・ 9/29 全国地域安全運動中央大会 ・ 10/20 福島県中古自動車販売協会研修会 ・ 11/18 福島県青少年健全育成県民大会 ・ 11/18 未成年者喫煙防止対策協議会 ・ 11/22 第32回暴力団根絶福島県民大会 ・ 11/26 被害者に優しい福島の風運動 イ 全国防犯協会連合会関係会議等への出席 ・ 7/21 専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者全国会議 ・ 7/25 東北防犯協会連絡協議会総会 (3) 活動基盤の整備 ア 組織体制等の見直し 組織及び各事業の有効性や必要性を検証し、事業内容の見直しを図った。 イ 賛助会員の加入促進 県防連に対する理解の促進に向けて、個別勧誘活動等を実施し、会員拡大に努めた。
---------	---